

## 障害者の情報環境及びITを活用した障害者サービス

杉田正幸

(大阪府立中央図書館 読書支援課障がい者支援室)

### 1. 障害者の概要

#### 1-1. 障害者数調査 (厚生労働省「平成18年身体障害児・者実態調査結果」より)

総数：348万3000人

視覚障害 31万人 (8.9%)、聴覚・言語障害 34万3000人 (9.8%)

肢体不自由 176万人 (50.5%)、内部障害 107万人 (30.7%)

#### 1-2. 視覚障害者

視覚障害者—総数 31万人、視覚障害児—総数 4,900人

- ・主な原因：疾患によるもの 19.7%、事故によるもの 8.1%、加齢によるもの 2.0%、  
出生時の損傷によるもの 4.5%、不明・不詳等その他 65.7%
- ・分類：全盲（完全失明、光覚弁、手動弁、指数弁）、  
弱視（矯正視力0.02～0.3。視野障害が重度な場合、障害等級に反映される。視覚障害者の7割以上を弱視が占める。）、視野狭窄や色覚障害など視力以外の障害
- ・障害を受けた時期：先天盲、中途失明

#### 1-3. 聴覚障害者

聴覚・言語障害者—総数 34万3千人、聴覚・言語障害児—総数 1万7300人

聴覚・言語障害者の内訳—聴覚障害 27万6000人、平衡機能障害 2万5000人、

音声・言語咀嚼機能障害 4万2000人

- ・主な原因：風疹による先天性・後天性のもの
- ・分類：伝音性、感音性、混合性
- ・区分：ろう（障害等級2級）、軽度難聴・中度難聴・高度難聴（3級～6級）

### 2. 障害者資料の相互協力

#### ●全国的なネットワーク、総合目録

「点字図書・録音図書全国総合目録」(国立国会図書館)

<http://ndlopac.ndl.go.jp/>

「サピエ」(全国視覚障害者情報提供施設協会)

<http://www.sapie.or.jp/>

「点字雑誌・録音雑誌一覧」(全国視覚障害者情報提供施設協会)

<http://www.naiiv.net/material/?zasshiitiran>

#### ●都道府県立図書館と市町村図書館との連携

横断検索、相互協力

### 3. 図書館が備えることが望ましいと思われる機器

#### 3-1. パソコン

- ・OS: Windows XP または Windows 7
- ・入力: ローマ字入力、点字 (6点) 入力
- ・出力: 音声、点字、拡大

#### 3-2. 点字ディスプレイと点図ディスプレイ

パソコンの画面情報を点字または点図で表示

- 主な点字ディスプレイ**: 「ブレイルメモ」(32、ポケットの2種類)(ケージーエス)、「ブレイルテンドーBT46」(ケージーエス)、「清華」(V3、V4、V5、80、ミニの5種類)(日本テレソフト、清華大学(中国))、「Focus 40 Blue 点字ディスプレイ」(エクストラ、フリーダムサイエンティフィック(アメリカ))
- 主な点図ディスプレイ**: ドットビュー(DV-1、DV-2)(ケージーエス)

#### 3-3. 点字プリンター

- ・種類: 片面、両面(手動)、両面(同時)
- ・打ち出す内容: 点字のみ、点字と墨字、点図

#### 3-4. 音声読書機

スキャナーの上に墨字原稿(本など)を置き、簡単な操作で、その内容を音声で読み上げる。

製品名: 「よむべえ」(アメディア)、「とうくんライト」(アイフレンズ)、「よみあげ名人」(アイネット)

#### 3-5. 視覚障害者用活字文書読上げ装置

紙に印刷された SP コード(二次元音声情報)を読み上げる機械。SP コードは、パソコンの専用ソフトで作成する。

製品名: 「スピーチオプラス」(廣済堂)、「Tellme」(日本福祉サービス)、「らいふリミテッド」(日本テレソフト、VOICEYE(韓国))

#### 3-6. DAISY 図書再生機

録音図書の国際標準である DAISY を再生する機器で、再生専用機、録音と再生が可能な機器、携帯用機器、ネット配信が可能な機器がある。

- マルチメディア DAISY 再生機**: 「クラスメイト」(エクストラ、ヒューマンウェア(カナダ))
- 再生専用機**: 「プレクストーク PTN2」(シナノケンシ)
- 録音と再生が可能な機器**: 「プレクストーク PTR2」(シナノケンシ)
- 携帯用機器**: 「プレクストークポケット PTP1」(シナノケンシ)、「ブックセンス」(タイムズコーポレーション)、「VR ストリーム」(エクストラ、ヒューマンウェア(カナダ))、「Voice Trek」(オリンパスイメージング)
- ネット配信が可能な機器**: 「らくらくホン」(プレミアム、V、6、7、ベーシック3の5種類)(NTTドコモ)、「プレクストークリンクポケット」(シナノケンシ)

### 3-7. モバイル端末

ここ数年、視覚障害者が音声や点字で利用可能なモバイル端末が発売されている。視覚障害者専用の製品だけでなく、一般の機器にも音声ガイドが少しずつ付加されている。

- 視覚障害者専用の音声読み上げ端末：ボイスセンス（エクストラ、HIMS（韓国））
- 視覚障害者専用の点字携帯情報端末：「ブレイルセンス」（U2、オンハンドの2種類）（エクストラ、HIMS（韓国））
- 市販の音声読み上げ端末：「らくらくホン」（NTTドコモ）、「iPad」、「iPhone」、「iPod」に標準搭載されている「VoiceOver」（アップル）、「アンドロイド4（Android4）」以降のスマートフォンに搭載されている「TalkBack」（Google）と「Document Talker（ドキュメントトーカ）日本語音声合成エンジン for Android」（クリエートシステム開発）との組み合わせ

### 3-8. CD/DVD コピー装置

DAISY 雑誌や図書を、複数枚作成する際に使用する。  
製品名：「PLEXCOPIER PX-DM300」（シナノケンシ）

### 3-9. 拡大読書器

弱視や高齢者が本を拡大して読む際に使用できる。据え置き型と携帯型があるが、図書館で設置する場合は利用者の使いやすさから、据え置き型を設置することが望ましい。また、障害者サービスの部屋（対面朗読室など）に設置するのではなく、一般の閲覧室に設置し、小さな文字が見えにくい人など、障害者・高齢者・一般の利用者にも広く利用できるようにする。

- 据え置き型：「AV-100CP」（タイムズコーポレーション、エルモ）、「VS-2000AF D」（西澤電機計器製作所、ナイツ製品を継承）、「VS-3000AF D」（西澤電機計器製作所、ナイツ製品を継承）、「トパーズ」（エクストラ、インサイト、フリーダムサイエンティフィック（アメリカ））、「クリアビュープラス」（タイムズコーポレーション、オプトレック（オランダ））、「メーリンLCDリミテッド」（日本テレソフト、エンハンスビジョン（アメリカ））、「AcrobatLCDアームタイプ」（日本テレソフト、エンハンスビジョン（アメリカ））、「オニキス」（（エクストラ・インサイト、フリーダムサイエンティフィック（アメリカ））、「スマートビューシナジィ 22A」（西澤電機計器製作所、ヒューマンウェア（カナダ））
- 携帯型：「アクティブビュー」（タイムズコーポレーション、パナソニック四国エレクトロニクス）、「サファイヤ」「ルビー」（エクストラ・インサイト、フリーダムサイエンティフィック（アメリカ））、「オリンピア」（インサイト、インシフィル（アメリカ））、「コンパクトミニ」（タイムズコーポレーション）、「AMIGO」（日本テレソフト、エンハンスビジョン（アメリカ））、「ピコ」（インサイト、インシフィル（アメリカ））、「センスビューP430」「センスビューM430 デュオ」（タイムズコーポレーション、HIMS（韓国））、「ズームマックススノー」（タイムズコーポレーション、エンハンスビジョン（アメリカ））、「バーサ」（西澤電機計器製作所、VisioBook（ケージーエス、BAUM（ドイツ））

### 3-10. 立体コピー機

書きたい図を普通の紙に書き、それを立体コピー専用の特殊加工した紙「カプセルペーパー」にコピー。このコピーのカーボンが「立体コピー機」（加熱する機械）に通すと特殊インクと反応して浮き出て、触ってもわかるようになる。

製品名：「立体コピー作成機PIAF」（ケージーエス）、「立体コピーシステム PartnerVision bizhub 360」（コニカミノルタ）

### 3-11. その他

点字ラベラー、各種の録音用機器や装置、パソコン周辺機器など

## 4. 図書館で視覚障害者が用いるソフトウェア

### 4-1. スクリーン・リーダー（画面読み上げソフト）

パソコンの画面情報を音声で読み上げる。スタートメニューやプログラム、アプリケーションメニューやダイアログボックス、漢字変換など

主なソフト名：「PC-Talker」（高知システム開発）、「JAWS」（エクストラ、フリーダムサイエンティフィック（アメリカ））、「FocusTalk」（スカイフィッシュ）

### 4-2. 音声ブラウザ

インターネットの情報を音声で読み上げる。

主なソフト名：「ネットリーダー」（高知システム開発）、「スマートブラウザリーダーUSB」（テクノツール）、「Altair」（日本障害者リハビリテーション協会）

### 4-3. 画面拡大ソフト

パソコンの画面情報を拡大表示する。

主なソフト名：「ZoomText」（NEC、Ai Squared（アメリカ））、「MAGic」（エクストラ、フリーダムサイエンティフィック（アメリカ））

### 4-4. 活字OCRソフト

パソコンとスキャナーを接続し、パソコン側から簡単な操作をすることでスキャナーの上に置いた墨字原稿（図書など）を音声で読み上げる。

主なソフト名：「らくらくリーダー」（アイネット）、「MyRead」（高知システム開発）、「とうくん」（アイフレンズ）

### 4-5. 点訳ソフト

パソコン上に6点またはローマ字で点字を入力し、点字印刷する（点訳ボランティアや視覚障害者向き）。

主なソフト名：「点字編集システム」（テクノツール）、「ブレイルスター」（ニュー・ブレイル・システム）、「T・エディタ」（加藤文彦）、「ういんびー」（ゴン）

### 4-6. 自動点訳ソフト

漢字かな混じりの文書を自動的に点字変換をする（変換は完全ではないので、点字の分かる人が点字のルールに従って間違えの訂正、分から書きの訂正が必要）。

主なソフト名：「EXTRA」（エクストラ）、「ibukiTenC」（岐阜大学池田研究室）、「お点ちゃん」（K a t m a n）

### 4-7. DAISY制作ソフト

●音声のみのDAISY制作ソフト：「Plectalk Recording Software PRO（PRS Pro）」（シナノケンシ）、「MyStudio PC」（日本障害者リハビリテーション協会）

●マルチメディアDAISY制作ソフト：「Sigtuna DAR」（日本障害者リハビリテーション協会）、「DAISY Translator」（マイクロソフト、DAISY コンソーシアム）

### 4-8. DAISY再生ソフト

音声のみのDAISYや音声・テキスト・画像の入ったマルチメディアDAISYを再生するソフト。

●音声DAISY再生ソフト：「ネットプレクストーク」（シナノケンシ）、「MyBook II」（高知システム開発）

●マルチメディアDAISY再生ソフト：「AMIS」「LpPlayer 日本語版」（日本障害者リハビリテーション協会）、「EasyReader Express 日本語版」（支援技術開発機構）、「Voice of DAISY (VOD）」（サイバ

ック)

#### 4-9. その他の視覚障害者用のソフト

音声ワープロソフトとして、「MyWord V Pro」(高知システム開発)、「MyWord V Lite」(高知システム開発)、「でんぴつ for Windows」(ニュー・ブレイル・システム)などがある。その他、インターネットの検索に特化したソフトとして、高知システム開発の「MyNews」(ニュース閲覧)、「MyRoute」(経路探索)、「MyDic」(辞書検索)、「MyDoctor」(健康・医療)などがある。

#### 4-10. シェアウェア、フリーソフト

インターネットの検索に特化したソフトとして、「桂木範・オンラインソフト工房」と「Miyamiyaのホームページ」で公開されているシェアウェアが視覚障害者の間で多く利用されている。

### 5. 視覚障害者情報提供ネットワークシステム「サピエ」(全国視覚障害者情報提供施設協会)

<https://www.sapie.or.jp/>

#### 5-1. 「サピエ」とは

視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある方々(個人会員・無料)と、視覚障害者情報提供施設(点字図書館)や公共図書館など(施設会員・有料)が対象。

点字、DAISY データを始めとする図書情報、地域・生活情報などさまざまな内容を提供するネットワーク。

#### 5-2. サピエの歴史

- 1988年 日本IBMが「IBM てんやく広場」を開始
- 1993年 「てんやく広場」に改名
- 1994年 総会にて正式オープン(個人会員・関係団体へネットワークを解放)
- 1995年 オンラインリクエスト(ネットワークによる相互貸借) 試行開始
- 1998年 「ないーぶネット」に改称

以降操作性やアクセスのスピードアップをはかっていく

- 2001年 「インターネット版ないーぶネット」(総合ないーぶネット) 開始
  - 2004年 点字・録音図書ネットワーク配信システム「びぶりおネット」開始
  - 2010年 視覚障害者情報総合システム「サピエ」運用開始
    - ・日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行い、日本ライトハウス情報文化センターがサポートセンターを受託
    - ・「ないーぶネット」と「びぶりおネット」の特徴を併せ持つサービス
- ※ 個人会員：10,822人(2012年11月現在)  
※ 視覚障害以外の読書障害(B会員) 111人、B会員を受入可能な施設 54

#### 5-3. 「サピエ図書館」で提供されるサービスについて

- ・検索
- ・オンラインリクエスト
- ・DAISY データストリーミング
- ・点字データ、DAISY データダウンロード

#### 5-4. 「サピエモバイル」と「サピエモバイル・デジ館」

- ・「サピエモバイル」：携帯電話で「サピエ」にアクセス(機種はどれでも可)。資料の検索はできるが、会員限定のサービス(ダウンロード、オンラインリクエスト)は利用できない。

- ・「サピエモバイル・デジター館」：原型は「びぶりおネットモバイル」。オンラインリクエストやダウンロードも可能。利用できる機種はNTT ドコモ「らくらくホン」（プレミアム、V、6、7、ベーシック）の5種類。

## 5-5. 公共図書館及び大学図書館のサピエ加入施設一覧

<https://member.sapie.or.jp/institutions/block/>

### 5-5-1. 全国の公共図書館（公共図書館内に付属する点字図書館を含む89館）

- 東北・新潟・北海道ブロック**：函館市中央図書館、北広島市図書館、青森市民図書館、せんだいメディアテーク、いわき市立いわき総合図書館、柏崎市立図書館
- 関東・山梨ブロック**：宇都宮市立中央図書館、さいたま市立中央図書館、草加市立中央図書館、越谷市立図書館、春日部市立中央図書館、埼玉県立久喜図書館、川越市立西図書館、新座市立中央図書館、上尾市図書館、千葉県立中央図書館、流山市立森の図書館、千葉県立西部図書館、浦安市立中央図書館、千葉県立東部図書館、市原市立中央図書館、港区立みなと図書館、東京都立中央図書館、台東区立中央図書館、東京都北区立中央図書館、足立区立中央図書館、葛飾区立中央図書館、江戸川区立中央図書館、目黒区立目黒本町図書館、新宿区立戸山図書館、中野区立中央図書館、豊島区立中央図書館ひかり文庫、練馬区立光が丘図書館、武蔵野市立中央図書館、調布市立中央図書館、府中市立中央図書館、西東京市谷戸図書館、立川市中央図書館、東京都立多摩図書館、日野市立中央図書館、八王子市立中央図書館、東久留米市立中央図書館、多摩市立永山図書館、横浜市立中央図書館、厚木市立中央図書館、茅ヶ崎市立図書館、山梨県立図書館
- 中部・三重ブロック**：金沢市立泉野図書館、長野市立長野図書館、松本市立中央図書館、岐阜県図書館、三島市立図書館、富士市立中央図書館、浜松市立城北図書館、磐田市立図書館、田原市立中央図書館、岡崎市立中央図書館、愛知芸術文化センター愛知県図書館、名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫、豊田市立中央図書館、半田市立図書館、小牧市立図書館、四日市市立図書館、桑名市立中央図書館、名張市立図書館
- 近畿ブロック**：国立国会図書館、大阪市立中央図書館、池田市立図書館、吹田市立千里山・佐井寺図書館、枚方市立中央図書館、大阪府立中央図書館、松原市民図書館、河内長野市立図書館、岸和田市立図書館、芦屋市立図書館、宝塚市立中央図書館、川西市立中央図書館、三田市立図書館、篠山市立中央図書館
- 中国・四国ブロック**：鳥取県立図書館、岡山県立図書館、広島市立中央図書館、山口市立中央図書館、山口県点字図書館、宇部市立図書館点字資料室、松山市立中央図書館、高知県立図書館
- 九州ブロック**：福岡県立図書館、佐賀市立図書館

### 5-5-2. 全国の大学（8館）

筑波技術大学視覚障害系図書館、ルーテル学院大学、日本福祉大学附属図書館、皇學館大学、龍谷大学教育学部、天理大学、沖縄国際大学教務部学務課

## 5-6. サピエ及び国会図書館総合目録への加盟施設数（2012年11月現在）

館種／参加館数（館）	サピエ	点字図書・録音図書全国総合目録
公共図書館（等）	84	146
点字図書館（等）	86	86
その他	89	8
計	259	240

## 5-7. サピエ図書館及び国会図書館の総合目録に収録されている書誌データの形態および件数

(2012年11月現在)

資料形態/件数 (件)	サピエ図書館	点字図書・録音図書全国総合目録
点字	231,873	155, 194
録音 (カセットテープ)	189,131	214, 617
録音 (DAISY)	130,697	107, 713
計	553,891	477, 524

※サピエ図書館で提供されている「点字・DAISY データ (コンテンツ)」数は以下のとおり。

点字データ : 141,719 タイトル

DAISY データ : 39,403 タイトル (音声)、144 タイトル (テキスト)、  
18 タイトル (マルチメディア)

## 6. 電子図書 (ドットブックやオーディオブック) のダウンロードと購入

### 6-1. ドットブックの再生ソフト

電子本ビューア「T-Time」(ボイジャー)、電子音声読上げソフト「電子かたりべ」(アルファシステムズ)、Mybook II (高知システム開発)

### 6-2. ドットブックのダウンロードサイト

- ・理想書店

<http://www.dotbook.jp/dotbook/>

- ・講談社電子文庫パブリ

<http://www.paburi.com/>

- ・グーテンベルク 21

<http://www.gutenberg21.co.jp/>

### 6-3. オーディオブックのダウンロードサイト

- ・オトバンク→FeBe! (フィービー)

<http://www.otobank.co.jp/>

- ・ことのは出版

<http://www.kotonoha.co.jp/>

## 7. 公共図書館でのパソコンや機器を用いた障害者サービス

### 7-1. 大阪府立中央図書館でのインターネット講習会やパソコン利用支援サービス

#### 7-1-1. 大阪府立中央図書館 利用案内より IT支援について

「大阪府立中央図書館利用案内 視覚障がい者のみなさんへ」平成24年3月製作より関連部分のみ抜粋。

#### 6 各種読書支援機器の利用

弱視の方のために、拡大読書器を各階の閲覧室及び対面朗読室に備えています。

また、拡大機能のついた音声読書器やデジ再生機器もご利用いただけます。

#### 9 パソコン利用サービス

パソコンを利用して、音声や点字、拡大画面での蔵書検索、資料の閲覧等ができます。初めての方には職員が利用方法を説明しますので、事前にご連絡ください。

(1) ホームページの閲覧と検索…大阪府立図書館や全国の図書館の蔵書検索、出版情報や図書

館での調べものなどに、音声でホームページの閲覧ができます。

- (2) オンラインデータベースやCD-ROMの利用…新聞記事・雑誌記事（法律や医学など）の各種オンラインデータベース、辞書や百科事典など障がい者支援室及び各主題室所在のCD-ROMをご利用いただけます。
- (3) 点訳ソフトの利用…「サピエ」所蔵の点訳図書データなどを閲覧いただけます。
- (4) 点図ディスプレイ利用サービス…パソコン画面に表示される絵や写真、文字情報を3072のピンで表示し、それを触って確認できます。インターネットの画面やスキャナーから取り込んだ情報をリアルタイムで触覚にて確認できる装置です。
- (5) その他、各種視覚障がい者用機器・ソフトの利用

## 7-1-2. 視覚障がい者、盲ろう者、聴覚障がい者対象のパソコン個別支援・IT講習会

### 7-1-2-1. パソコン個別支援

大阪府立中央図書館では、視覚障がい者の図書館利用の増進を図ることを目的に、2000年10月に「視覚障害者用パソコンシステム利用サービス実施要領」を策定した。具体的な内容は音声読み上げ、点字表示、画面拡大を利用して、OCR、インターネット、CD-ROM 辞書、点訳ソフトなどの利用であり、それらの使い方を職員が指導する個別支援を開始した。盲ろう者への個別支援を開始したのは2001年度からである。盲ろう者への個別支援は今までに17名に実施しており、現在も4名を継続支援している。

表1. 大阪府立中央図書館 パソコン個別支援利用状況（視覚障がい者・盲ろう者）

年度	指導 時間数	利用 時間数	合計 時間数	延べ 利用者数
2001年度	281	546.5	827.5	376
2002年度	177	477	654	255
2003年度	18.5	242.5	261	81
2004年度	27.0	102.5	129.5	50
2005年度	195	32	227	104
2006年度	236.5	12.5	249	122
2007年度	214	11	225	114
2008年度	416	16	432	207
2009年度	421	12	433	206
2010年度	241	4	245	120
2011年度	205	22	227	105

表2. 大阪府立中央図書館 パソコン個別支援利用状況（盲ろう者のみ）

年度	人数	回数	総時間
2001 年度	1	15	34
2002 年度	1	14	30
2003 年度	0	0	0
2004 年度	0	0	0
2005 年度	0	0	0
2006 年度	2	15	37.5
2007 年度	8	52	105
2008 年度	6	134	285
2009 年度	7	119	261
2010 年度	7	82	170
2011 年度	6	75	162

#### 7-1-2-2. IT講習会、インターネット講習会

視覚障がい者向けIT講習会を2001年度から開始し、盲ろう者向けインターネット講習会を2003年度から開始した。また、2011年度から聴覚障がい者を対象としたIT講習会も開催している。

視覚障がい者向けIT講習会は当初、初級講座を中心におこない、その後、初級講習会を行わずインターネット検索の中級講座を開催、2011年度からはオンラインデータベースの講習を実施している。盲ろう者向けインターネット講習会は点字ディスプレイや画面拡大ソフトを使用した講習会を行ってきたが、2009年度から点字携帯情報端末「ブレイルセンス」を使っての電子メールやインターネット検索の講習を実施している。

2011年度の講習会の概要は以下の通り。

- ・視覚障がい者向けIT講習会：契約オンラインデータベース（朝日新聞、医学中央雑誌）の2講座
- ・聴覚障がい者向けIT講習会：当館蔵書検索、契約オンラインデータベース（朝日新聞、MAGAZINEPLUS）を1講座
- ・盲ろう者向けインターネット講習会：ブレイルセンス（点字携帯情報端末）をもちいたインターネット閲覧と検索を2講座

表3. 大阪府立中央図書館視覚障害者向けIT講習会の受講状況

開催年度	レベル	講座名/内容	講座数	定員	申込者数	受講者数
2001	初級	ウィンドウズの基本的な操作、インターネットでホームページの閲覧、文書の編集、電子メールの操作等	4	40	52	38
2002	初級	ウィンドウズの基本的な操作、インターネットでホームページの閲覧、文書の編集、電子メールの操作等	3	15	19	14
2003	初級	パソコンの基本操作、文字入力、ホームページの閲覧、電子メールの送受信	2	12	33	12
	中級	パソコンの応用操作、文書作成、ホームページ検索と応用操作、電子メールの送受信	2	12	38	14
2004	中級	パソコンの応用操作、文書作成、ホームページ検索と応用操作、電子メールの送受信	3	18	74	20
2005	中級	パソコンの応用操作、文書作成、ホームページ検索と応用操作、電子メールの送受信	4	24	58	24
2006	中級	ホームページ・リーダー入門コース、ホームページ・リーダー応用コース	2	12	15	12
2007	中級	ホームページ・リーダー応用コース、ホームページ作成コース	2	12	24	12
2008	中級	インターネット検索コース	1	6	5	4
2009	中級	大阪府立図書館蔵書検索コース、インターネット検索コース	2	12	18	12
2010	中級	大阪府立図書館蔵書検索コース、インターネット検索コース	2	11	13	8
2011	中級	データベース検索コース、インターネット検索コース	2	11	15	14
	中級	特別研修・図書館活用（視覚障がいコース）／医学雑誌論文・記事のデータベース検索	1	8	4	3
	中級	特別研修・図書館活用（聴覚障がいコース）／蔵書検索、新聞記事・雑誌記事検索	1	8	8	7

表4. 大阪府立中央図書館盲ろう者向けインターネット講習会の受講状況

開催年度	レベル	講座名/内容	講座数	定員	申込者数	受講者数
2003	初級	点字ピンディスプレイコース/ ホームページの体験・文字の入力・ 電子メールの体験・点字図書閲覧	1	4	11	4
2004	初級	点字ピンディスプレイコース/ ホームページ・電子メールの体験	1	4	7	4
2005	初級	電子メール体験コース/電子メールの体験	1	3	3	3
	中級	ホームページ体験コース/ ニュース閲覧・ホームページの体験	1	4	4	3
2006	初級	電子メール体験コース/ 電子メールの体験・ニュース閲覧	1	3	4	3
2007	中級	インターネット活用コース/ 電子メールの応用・ホームページ閲覧・ インターネット検索	1	4	5	4
2008	初級	拡大画面对応の電子メール体験コース/ 電子メール体験・ニュース閲覧	1	2	2	2
	中級	点字ピンディスプレイ対応の インターネット活用コース/ ホームページ閲覧・インターネット検索	1	2	2	2
2009	初級	ブレイルセンスプラス基礎コース/ 電子メール・ホームページ閲覧・GPSナビ	1	3	5	3
	中級	インターネット応用コース/ ホームページ検索・インターネット検索	1	3	5	3
2010	初級	ブレイルセンス基礎コース/ 電子メール・ホームページ閲覧・GPSナビ	1	3	4	4
	初級	インターネット基礎コース/ 電子メール・ホームページ閲覧	1	3	2	2
2011	中級	ブレイルセンス応用コース/ ホームページ閲覧・インターネット検索	2	4	4	4

## 7-2. 大阪府立中央図書館でのオンラインデータベース（新聞や雑誌記事）の提供

### 7-2-1. 障害者への提供方法について（概要）

- 来館利用：PC-Talker や JAWS などの画面読み上げソフト、ZoomText などの画面拡大ソフト、ブレイルノートやブレイルテンダーなどの点字ディスプレイを用いての新聞・雑誌・その他のオンラインデータベースの利用
- 非来館利用：新聞データベースのみ一定の条件の障害者に対して、朝日・読売・毎日・産経の代行検索と郵送複写（日経のみ代行検索と郵送複写の許諾を得られず）。

#### 7-2-2. 提供している雑誌記事データベース

- ・MAGAZINEPLUS（日外アソシエーツ）
- ・J DreamⅡ（科学技術振興機構）
- ・医中誌Web（医学中央雑誌刊行会）
- ・CiNi（国立情報学研究所）

#### 7-2-3. 提供している新聞記事データベース

- ・聞蔵（きくぞう）Ⅱビジュアル（朝日新聞）
- ・日経テレコン21（日本経済新聞）
- ・ヨミダス歴史館（読売新聞）
- ・毎索（毎日新聞）
- ・The Sankei Archives 産経新聞ニュース検索サービス（産経新聞）

#### 7-2-4. その他提供しているデータベース

- ・判例体系（法情報総合データベース）（第一法規）
- ・法律判例文献情報（法情報総合データベース）（第一法規）
- ・官報情報検索サービス（国立印刷局）

### 7-3. 電子書籍

#### 例

- ・大阪市 2012年1月20日から「eBook Collection (EBSCOhost)」：  
<http://www.oml.city.osaka.jp/net/ebook.html>
- ・堺市 2011年1月8日から：「電子図書館サービス TRC-DL (TRC-Digital Library)」  
<https://dnp-cms.d-library.jp/SKI01/>

→スクリーンリーダーを用いて試みたところ、大阪市はある程度利用可能であったが、堺市は全く利用困難であった。（2012年9月 杉田確認）

※ 国会図書館及び公共図書館の電子書籍サービスは、画像データや専用ソフトを使用することでの提供などの方法をとっているところもあり、現状では特に視覚障害者への配慮が不十分である。

#### 7-4. 24時間テレビ（日本テレビ）「障害者サービス用機器の贈呈事業」

<http://www.jla.or.jp/portals/0/html/lsh/24tv/2010-24tv.html>

##### 7-4-1. 概要

日本テレビ系の「24時間テレビ」では、毎年8月に放送している24時間テレビ「愛は地球を救う」の番組を通して、善意の募金を元に、「福祉」「環境」「災害援助」の3つの分野の活動を行っている。その中の福祉分野の活動として2008年から、視覚障害者支援等の一環として、公立図書館に音声パソコン、拡大読書器等の障害者サービス用機器類の贈呈事業を日本図書館協会「障害者サービス委員会」の協力で実施している。なお、2012年は震災の為、東北地区の図書館のみを対象として実施した。

##### 7-4-2. 「24時間テレビ」チャリティー委員会による障害者サービス用機器の贈呈事業の贈呈先

（2008-2011年度実績 合計232館）

●都道府県立図書館（23館）：青森県立図書館、群馬県立図書館、茨城県立図書館、埼玉県立久喜図書館、千葉県立中央図書館、新潟県立図書館、富山県立図書館、福井県立図書館、岐阜県図書館、愛知芸術文化センター愛知県図書館、大阪府立中央図書館、和歌山県立図書館、鳥取県立図書

館、島根県立図書館、広島県立図書館、山口県立山口図書館、徳島県立図書館、高知県立図書館、福岡県立図書館、大分県立図書館、宮崎県立図書館、鹿児島県立図書館、鹿児島県立奄美図書館

●**道府県庁所在地及び東京23区(34館)**：青森市民図書館、せんだいメディアテーク、宇都宮市立図書館、さいたま市立中央図書館、千葉市中央図書館、世田谷区立中央図書館、豊島区立中央図書館、新宿区立戸山図書館、練馬区立光が丘図書館、墨田区立あずま図書館、荒川区立南千住図書館、江東区江東図書館、大田区立下丸子図書館、江戸川区立中央図書館、中野区立中央図書館、横浜市中央図書館、新潟市立中央図書館、富山市立図書館、長野市立長野図書館、静岡市立中央図書館、名古屋市鶴舞中央図書館、津市立図書館、京都市中央図書館、大阪市立中央図書館、岡山市立中央図書館、広島市立中央図書館、高松市中央図書館、松山市立中央図書館、佐賀市立図書館、長崎市立図書館、熊本市立図書館、宮崎市立佐土原図書館、鹿児島市立図書館、那覇市立中央図書館

●**その他、市町村立図書館(175館)**：省略

※参考：大阪府内の公共図書館で寄贈を受けている図書館(13館)：

池田市立図書館、茨木市立中央図書館、大阪狭山市立図書館、大阪市立中央図書館、大阪府立中央図書館、河内長野市立図書館、吹田市立千里山・佐井寺図書館、豊中市立岡町図書館、富田林市立金剛図書館、阪南市図書館、枚方市立中央図書館、松原市民図書館、箕面市立中央図書館

## 8. 情報機器利用に関する参考文献

### 8-1. 障害者の情報機器利用関連の参考図書

- (1) 韓星民(2012)「視覚障害者用アシティブ・テクノロジーの理論と応用」, 明石書店
- (2) 白井康晴(2009)「何を聞かれても困らない視覚障害者のためのパソコン指導マニュアルーパソコン指導に必携の書! 3つのスクリーンリーダーにも対応」, 日本盲人社会福祉施設協議会情報サービス部会
- (3) SPAN(視覚障害者パソコンアシストネットワーク)編(2008)「視覚障害者のためのパソコン入門(WindowsVista編)」, SPAN(視覚障害者パソコンアシストネットワーク)
- (4) SPAN(視覚障害者パソコンアシストネットワーク)編(2008)「パソコン講座テキスト・初級編」, SPAN(視覚障害者パソコンアシストネットワーク)
- (5) 全国視覚障害者情報提供施設協会サービス委員会音声パソコンサポート・プロジェクト編(2007)「視覚障害者ICTサポートガイドブックー基礎・導入のためのQ&A」, 全国視覚障害者情報提供施設協会
- (6) (2005)「視覚障害者のための最新情報機器&サービス2006」, 大活字
- (7) 氏間和仁編著・小田浩一監修(2006)「音声ユーザーへのパソコン導入期指導プログラム」, 読書工房
- (8) 山田幸男(2005)「視覚障害者の初めてのパソコン教室ー音声パソコンで広がるコミュニケーション」, メディカ出版
- (9) 井尾真知子(2004)「視覚障害者のための音声パソコン入門ーITは、障害を乗り越えるための最高のツールである!」, インデックス出版
- (10) 全国視覚障害者インターネット接続支援連絡会編(2002)「視覚障害者へのパソコンサポート入門」, 大活字
- (11) こころリソースブック編集会編(2004)「福祉情報技術(e-AT)製品ガイドーこころリソースブック2004-2005年版」, こころリソースブック出版会
- (12) e-AT利用促進協会監修(2003)「詳解福祉情報技術1(障害とテクノロジー編)福祉

とテクノロジーの共存をめざして」, ローカス。

(13) e-AT利用促進協会監修 (2003) 「詳解福祉情報技術 2 (生活を支援する技術編) 福祉とテクノロジーの共存をめざして」, ローカス

(14) ニューメディア開発協会支援技術利用促進検討委員会編 (2002) 「電子情報支援技術を学ぶ 1 障害とテクノロジー (総論)」, ニューメディア開発協会

(15) ニューメディア開発協会支援技術利用促進検討委員会編 (2002) 「電子情報支援技術を学ぶ 2 生活を支援する技術 (各論)」, ニューメディア開発協会

(16) 山田肇編著・C&C振興財団監修 (2005) 「情報アクセシビリティ—やさしい情報社会へ向けて」, NTT出版

(17) C&C振興財団編・アクセシビリティ研究会 (2003) 「情報アクセシビリティとユニバーサルデザイン 誰もが情報にアクセスできる社会をめざして」, アスキー

(18) 全国盲ろう者協会編 (2012) 「盲ろう者向けパソコン指導マニュアル 平成23年度版 Windows 7編」, 全国盲ろう者協会

(19) 全国盲ろう者協会編 (2007) 「盲ろう者向けパソコン指導者等養成研修事業報告書 平成18年度版」, 全国盲ろう者協会

(20) 日本障害者リハビリテーション協会編 (2011) 「平成23年度パソコンボランティア指導者養成事業 研修テキスト」, 日本障害者リハビリテーション協会

## 8-2. 公共図書館の障害者へのIT支援に関する記事・論文

(1) 中山玲子 (2000) 「日野市立図書館での視覚障害者へのパソコン操作補助の取り組み」, みんなの図書館, 277号, p.46-55

(2) 中山玲子 (2000) 「視覚障害者にとってのテクノロジー (特集:テクノロジーと図書館) — (サービス論)」, 図書館界, 51(5) (通号 290号), p.310-317

(3) 杉田正幸 (2001) 「IT時代の視覚障害者サービス—大阪府立中央図書館でのサービスを中心に (特集 図書館とIT)」, みんなの図書館, 通号290号, p.40-47

(4) 杉田正幸 (2010) 「視覚障害者のIT環境および盲ろう者へのIT支援 (特集 ITとリハビリテーション)」, 総合リハビリテーション, 38(1), p.27-32

(5) 杉田正幸 (2009) 「情報障害のある人への支援の現状と課題—視覚と聴覚の両方に障害のある人(盲ろう者)へのパソコン支援を中心に (特集:情報バリアフリーとしてのユニバーサル・サービス)」, 情報の科学と技術, 59(8), p.378-384

(6) 杉田正幸 (1999) 「視覚障害者の情報アクセス—電子メディアへのアクセスの現状と課題(公共図書館を中心に) (特集 電子化資料の導入を進めよう)」, みんなの図書館, 通号265号, p.27-42

(7) 荒川明宏 (2010) 「全国の図書館を回り機器の設置と説明をして思うこと (特集 活用しよう! 障害者サービス周辺情報)」, みんなの図書館, 通号401号, p.6-9

(8) 佐藤 聖一 (2010) 「機器ではじまる障害者サービス—24時間テレビチャリティ委員会による障害者サービス用機器寄贈事業の概要と図書館への影響 (特集 活用しよう! 障害者サービス周辺情報)」, みんなの図書館, 通号401号, p.2-5

※ この資料で紹介した関連のホームページは以下のページからリンクされております。

<http://www.j7p.net/ronbun/20121203.html>